

第六十五回

瀬戸市文芸発表会

特選作品

【若山 紀子 先生選】
詩

《一般の部》

海豚

最後の樂園に

ピンクの海豚がいるという

人は何をしてきたのだろう

愛すべきを愛し

憎むべきを憎めば

調和は保たれたのではないか

そう思う

海豚は何もかも承知で

海をパトロールする

神様からの指示

人間というどうしようもない

未発達な生き物たちは

どこまでも完全体には

なれないから

海豚に会いすべてを懺悔する

ピンクの海豚は最後の暗示

京都府京都市

鈴木トアル

まだ人々は気づいていない
地球上のリストラを

片方だけのイヤリング

瀬戸市上品野町

藤 天如

今、私は左耳に残ったイヤリングを入れるために、
小箱の蓋を開けている。

カサリと音をたててイヤリングが落ちる。

片方だけが残ったイヤリングたちが新入りを迎える。
つれあいをなくした理由を尋ねている。

新入りは脅えて、不安げに答える。

満員電車を降りたら、つれあいが消えていたことを。
イヤリングたちはガヤガヤ話し始める。

雨の中を走っているときとか、階段を登り降りする途中とか、
大半のイヤリングは、つれあいをなくしたときを、
はっきりとは覚えていないと言っている。

古株のイヤリングが新入りに告げた。

つれあいには二度と会えないと。

そして、ここにいと、時々似たような仲間がふたり選ばれて、
外の世界へ行くことがあると。

やがて、再びその仲間がひとりで帰ってくると。

長い時間が過ぎて、色あせて老いたイヤリングは静かに、
下で眠っていることも。

私は片方だけ残ったイヤリングを捨てることは出来ない。
なぜなら、私がつれあいをなくした片方だから。

《小中学生の部》

野良猫のぼく

水野小学校五年

中尾 桜子

ぼくのいつもの散歩道

家と家の間を通って

ぼくの大好きな商店街へ

そこにはぼくと同じ野良猫が

日向ぼっこしている

ここだけ時間がとまっているんだ

いつも

商店街のお店がしまりだすと

近くの公園へ急ぐ

近所のおばあさんがかつお節くれるんだ

こんな風にぼくの一日は過ぎていく

いつも通りの毎日だけど

ぼくはとても幸せだよ

俳句

【田口 風子 先生選】

《一般の部》

ラジオよりテネシーワルツ昭和の日
夏休みファールになる親子連れ
老ひることやうやく楽し仏桑花

岐阜県大垣市
神奈川県川崎市
群馬県藤岡市

大西 誠一
クジラ
千島 宏明

《小中学生の部》

桃色でふわふわしてる春の風

聖霊中学校二年

田住 尋

【武藤 紀子 先生選】

《一般の部》

ふらここや三回漕げば風になる
見るだけのつもりが下駄の踊り出す
南風にのり産声のとどきけり

瀬戸市みずの坂
瀬戸市さつき台
瀬戸市東赤重町

石田 穂實
内田 エミコ
水谷 久恵

《小中学生の部》

すみれがねぼくを待ってた階段で

幡山西小学校五年

都築 祐翔

俳句

【佐藤 美恵子 先生選】

《一般の部》

衣更え羽化したような娘の成長
あばら骨きしきし軋むメイストーム
両手あげ少年が追ふ初ほたる

埼玉県久喜市 岡田 孝道
佐賀県唐津市 古賀 由美子
瀬戸市共栄通 沢田 充子

《小中学生の部》

はっぱのふねながれてくるよ水あそび

名古屋市立名北小学校二年 玉井 康貴

【加藤 かな文 先生選】

《一般の部》

見るだけのつもりが下駄の踊り出す
サングラス外して母の顔となる
十二人の玉入競技秋高し

瀬戸市さつき台 内田 エミコ
瀬戸市城屋敷町 武田 稜子
瀬戸市共栄通 土井 典子

《小中学生の部》

春にはね六年生がいなくなる

幡山西小学校四年 水谷 礼兜

短歌

【大塚 寅彦 先生選】

《一般の部》

朽ち残る白木蓮を慰さめて囁けるごと夜半の月さす

霞立ち海の果てより幻の島寄るごとく大き船影

ただそつと肩におかれた掌がありき葬儀の客が帰りゆくなか

愛知県豊田市

愛知県豊田市

名古屋市昭和区

石倉 香子

大河内 朋子

添島 貴美代

《小中学生の部》

蟬時雨皆の声も聞こえないあなたの声はなぜか聞こえる

聖霊中学校二年

大矢 実穂

【近田 順子 先生選】

《一般の部》

雨の音拾って深い眠りです静かにわたし錆びてゆきます

好きなこといっぱいあったでも今は吾子が世界を回しているの

咲き初めしころ叔母逝きて満開のなか母逝けり桜の刻印

瀬戸市みずの坂

佐賀県唐津市

名古屋市昭和区

石田 穂實

古賀 由美子

添島 貴美代

《小中学生の部》

蟬時雨皆の声も聞こえないあなたの声はなぜか聞こえる

聖霊中学校二年

大矢 実穂

【松代 天鬼 先生選】

《一般の部》

年金の歩幅で歩む夫婦道
瀬戸焼きで命をつなぐ朝の飯
躓いた石に感謝が出来る今

埼玉県久喜市
名古屋市緑区
愛知県豊橋市

岡田 孝道
中川 広美
正秋

《小中学生の部》

どれかなあ好きな科目がわからない

效範小学校三年

水野 咲輝

【浅野 滋子 先生選】

《一般の部》

手捻りのおもかげ偲ぶ対茶碗
残照にあすなる明日の夢を抱く
逸れた子の着水を待つ母の海

愛知県尾張旭市
岐阜県揖斐郡池田町
岐阜県可児市

加藤 美子
草野 稔
高山 登

《小中学生の部》

おじいちゃん天国いってもげん気でね

幡山西小学校四年

渡邊 陽翔